

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
デッサン2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	伊藤 泰雅／中田 和彦			実務 経験	有	職種	画家				
担当教員紹介											
<p>画家。            絵画教室での講師をする傍ら、油彩で絵画を制作。            個展、グループ展で作品を発表し、精力的に活動。（伊藤泰雅）他。</p>											
授業概要											
<p>素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備えることを目的とする。</p>											
到達目標											
<p>1年次の基礎描写力を踏まえ、より癖なく、正しい素描の表現を出来るようになる。3年次年のより本格的な課題へ向けて描写力を鍛え、知識・技術をより深く学ぶだけでなく完成度の高い作品を制作できるようになることを目標とする。</p>											
授業方法											
<p>人物・静物・風景のモチーフを中心に1年次より難易度を上げた課題で制作する。導入では全体に向けて解説をし、制作中は個人指導を主体とする。作品ごとに最後は講習会を全体で行うか、成績採点後の返却時に個別に指導をする。</p>											
成績評価方法											
課題	80%	課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価									
授業大度	20%	作品制作への積極性を評価									
履修上の注意											
<p>苦手意識があっても手を止めず描き続ける事が重要。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
<p>教員・卒業生の参考作品、各種モチーフ等</p>											
回数	授業計画										
第1回	風景と人物を描けるようになる①										
第2回	風景と人物を描けるようになる②										
第3回	風景と人物を描けるようになる③										
第4回	手と食器を描けるようになる①										
第5回	手と食器を描けるようになる②										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
デッサン2	
第6回	手と食器を描けるようになる③
第7回	顔の部分を描けるようになる①
第8回	顔の部分を描けるようになる②
第9回	自画像を描けるようになる①
第10回	自画像を描けるようになる②
第11回	自画像を描けるようになる③
第12回	短時間で人物を描けるようになる①
第13回	短時間で人物を描けるようになる②
第14回	裸婦を描けるようになる①
第15回	裸婦を描けるようになる②